

「WE the PEOPLE」の反響続く。20万筆超え!

【辺野古署名、20万筆 メイさんら賛同 米回答義務の倍に】 2019/01/09 東京新聞より

米軍普天間(ふてんま)飛行場(沖縄県宜野湾(ぎのわん)市)の移設に伴う名護市辺野古(へのこ)の新基地建設を巡り、2月の県民投票まで工事を止めるようトランプ米大統領に求める嘆願書への電子署名が8日、期限を迎えた。本紙の確認で、集まった署名数は、米政府が公式に回答する規定数の2倍に当たる20万筆を超えた。国内外の多くの著名人が賛同するなど関心の高さをうかがわせた。(村上一樹、島袋良太)

電子署名は米ホワイトハウスの請願サイト「WE the PEOPLE」で実施。辺野古の署名は、日本時間8日午後2時の期限までに約19万9800筆が集まった。期限を過ぎても米政府が回答を掲載するまで署名は可能で、期限の約1時間後には20万筆を突破した。

この数は、サイトで確認できる中で5番目に多い。最多は、トランプ氏の全事業と財産の没収(約36万3000筆)で、銃火器規制法の撤廃(約29万6000筆)などが続く。

辺野古の署名は、ハワイ在住で沖縄出身者の血を引く日系四世の作曲家ロブ・カジワラさん(32)が先月8日

に始めた。国内外の著名人が会員制交流サイト(SNS)で協力を呼びかけるなど賛同が広がった。中でも、タレントのローラさん、英ロックバンド「クイーン」ギタリストのブライアン・メイさんらの書き込みは大きな反響を呼んでいる。

署名は30日以内に10万筆を集めると、米政府が回答を義務付けられる。辺野古の署名が10万筆を超えたのは先月18日。回答はそこから60日以内となる。ただトランプ氏はオバマ前大統領が始めた請願サイトに批判的なことで知られ、署名が規定数に達しても政府見解を回答しない対応が続いている。

カジワラさんの嘆願書では、昨年9月の沖縄県知事選で新基地建設反対を掲げた玉城(たまき)デニー氏が勝利したのに、日本政府と在日米軍は県民の意思を無視していると指摘。県が新基地建設の是非を問うために2月24日に行う県民投票まで、トランプ氏が工事停止を命じるよう求めている。

■辺野古埋め立て停止署名にSNSで賛同し、(敬称略)	英ロックバンド「クイーン」ギタリスト	ブライアン・メイ
	タレント	ローラ
	芥川賞作家	平野啓一郎
	映画監督	塚本晋也
	漫画家「ちはやふる」作者	末次由紀
	漫画家「逃げるは恥だが役に立つ」作者	海野つなみ
	ロックバンド「アジアティック・カンフー・ジェネレーション」ボーカル	後藤正文
	タレント・俳優	ラサール石井
	タレント・俳優	うじきつよし
	沖縄県出身タレント	りゅうちえる
	お笑いコンビ「ウーマンラッシュアワー」	村本大輔
	思想家	内田樹
	精神科医・立教大教授	香山リカ
	音楽評論家	湯川れい子
ジャーナリスト	津田大介	

私たちができること、まだまだあります!